



育子園のうさぎ  
みみちゃんの  
みみよりHOTニュース

- ① 0～2 歳児クラスも、「保護者の一日保育参加」が始まります。
- ② 2F 階段踊り場、絵本コーナーに照明スイッチが付きました。
- ③ イクメン雑誌『FQ JAPAN』 秋号を入荷しました。

① 9月から0～2 歳児クラスも、「保護者の一日保育参加」が始まります

平日の保育時間、お子様と一緒に過ごしてみると新たな発見の連続です。★1日1人です、クラスでお申込ください。

② 2F 階段踊り場、絵本コーナーに照明スイッチがつけました

絵本コーナー単独の照明スイッチを壁につきましたので暗い時はご利用ください。

③ 2F 階段踊り場、絵本コーナーにイクメン雑誌『FQ JAPAN』 秋号を入荷しました

特集は世界一のモテ DAD オーランド・ブルームが「立ち会い出産」を語ります。



★「見守る保育」は、新宿せいが保育園 藤森園長主宰のギビングツリーが提案している保育です★

～ シリーズ「見守る保育」～

東京都社会福祉協議会から「保育所待機児童問題 白書」という分厚い報告書が届きました。その中に、保育従事者の離職状況というアンケート結果が記されていました。

平成 21 年度の数字ですが、公私立認可保育園と認証保育園の平均離職率が約 13%という高い数値になっています。保育園は 100 人前後の園が多いので、従業員 30 人とすると毎年 4 人弱が離職している計算になります。とりわけ、勤務年数 3 年未満の離職率の高さが顕著で、他業種も入社して 3 年持てばその先も続く割合が高くなると言われているように、「石の上にも 3 年」ということわざは成り立っているようです。

単純に13%を杉並区に当てはめてみると、毎年 200 人も保育者が離職していることになりますので驚くべき数字です。さらに、育子園に当てはめると従業員 70 人のうち、毎年 9 人が入れ替わることになるので、人材育成にも大きな課題があると言えます。子どもと関わる仕事がしたくて保育の道を選択した方々が、道半ばというより入口で去って行くのは忍びがたいことです。

アンケートには離職理由までは分析してありませんので定かではありませんが、夢と現実との狭間で職場を去っていく方々が大半いるのだとすれば、園側も職場環境の改善策を講ずることが急がれているのではないのでしょうか。先日も保育士・幼稚園教諭取得を目指している保育実習生から実習受け入れ御礼の手紙をいただきましたが、育子園の特色として職場の人間関係がスムーズなのが印象的だったと記されていました。

その証として育子園の離職希望者(定年退職者を除く)はほとんど0%ですから、本当に有難いことだと思っています。

子ども主体・子ども中心の保育を行える基礎は、従業員がその職場が好きで、

居心地がよく、主体的に職場改善を創造していける環境があつてこそ成り立つのですから。



(2011.8.5 育子園ホームページ 園長ブログより)

育子園ホームページ「園のこだわり」(ブログ)で園内の様子など毎日アップしています。是非、ご覧ください。

クラスだよ

「先生、見て～」

園庭で育てている野菜を保護者と一緒に収穫して「先生見て！」と、その野菜を見せてくれました★少しずつですが、植物に興味を持って、子どもたちから「〇〇採りたい」という声が聞こえてきました★お部屋では以前と比べ、お友達同士で遊ぶ子も増えてきて「幼児さんに近づいてきたな～」と感じています。



〔きく・たんぽぽ組〕

育子園ごっこ

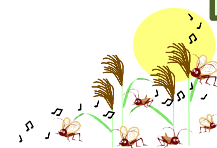
8月に入り、お部屋のレイアウトを変え、個々の成長に合わせ、より過ごしやすい環境設定を始めました★好きなおもちゃを選んで遊ぶことはもちろん、お友達との関わりも見られ、“行ってきま～す” “いただきます～す” など育子園ごっこをしたり、ふじ1のお友達のことがばが増えていたり、関わりの中での成長がたくさん見られてきました★これから秋を迎え、色々なことを経験していきたいです。



〔ふし組〕

～おしらせ～

「夕涼み会」は台風の諸影響を考慮し、中止いたします。(延期はしません) 子ども達も楽しみにしていましたが、何卒、ご理解いただきたくお願いいたします。また、大勢の保護者の皆様からお手伝いのお返事をいただきましたこと、御礼申し上げます。



エプロンシアター初体験

先日、初めてエプロンシアターを体験したつぼみ組さん★体を動かしながら一緒に楽しむ子もいれば、じーっと見つめる子…、指を差して大興奮の子とみんなそれぞれ楽しんでいました★色々な経験をし、キラキラと成長している姿に感動の毎日です。



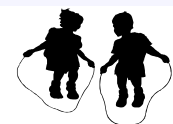
〔つぼみ組〕

次は運動会だ！！

夏休みは楽しく過ごし、久しぶりにそれぞれ楽しそうに登園してきたみんなの顔はとても嬉しそうでした★楽しいプールももうすぐ終わり、「次は運動会だ！！」と子どもたちも期待で胸がいっぱいです★心ひとつに楽しく取りくんでいきたいと思ひます。



〔うみ・じ・ぞうグループ〕



親が他人のせいにしたがる、子どもは善悪がわからず、なぜあやまらなければいけないかが、わからなくなります。

日本人の心と体にしみ込んで生かされてきた、素晴らしい智慧の数々…いま話題の『子どもが育つ江戸しぐさ』よりご紹介させていただきます。

第四条 自分の非は認めてあやまる  
《子育てしぐさ十ヶ条》より

要するに、他人のせいにはしないということです。

「あの人がこう言ったから」「原因はあの人よ」「私は知りません、あの人に聞いてください」「なんていったって、あの人に責任があるわ」などと、自分は常に外野にいて物を言い、自分に非があることを認めようとしない人がいます。子どものけんかによくあることですね。

妹や弟を泣かしてしまふ。親が泣かした兄を叱ると、兄は弟に「お前が先にやっつたんだろ！」と突く。弟が妹に「お前がこんなものを持ってくるからだ」と責め、妹はますます泣く…。下へ下へと、しわ寄せがくるようではいけません。

子どもにも非があれば、親の責任です。子どもといえども何が悪いかわかっています。自分の非はきちんと反省し、相手にあやまるくせをつけましょう。